

福部スポーツ祭 寒さを吹き飛ばす熱いプレーを展開

福部町 福部小学校体育館



3月6日(日)、福部小学校体育館で、スポーツ祭卓球の部が開催され、小学生から一般まで、およそ200人が参加し、団体・個人それぞれ別の部で力を競い合いました。

参加者は、気合いが入り、寒さを吹き飛ばす勢いで相手チームと対戦、熱いプレーが繰り広げられました。激戦の結果、団体男子は岩戸チーム、団体女子は細川チームがそれぞれ優勝しました。

県の無形民俗文化財に指定された 石がま漁を体験

湖山池 (鳥取三津)



3月6日(日)、湖山池で、「石がま保存会」と「NPO 湖山池石がま漁を伝承する会」の共催による「湖山池石がま祭」が催されました。

この祭は、寒い時期に湖山池で行われる伝統的な漁法「石がま漁」を広く市民に知ってもらおうと開催。

この日は、朝からたくさん家族連れなどが訪れ「石がま漁」に挑戦し、フナで作った料理が振る舞われました。

火災訓練で再点検 もしもの場合に備えよう

青谷町 青谷(浜町)



3月6日(日)、青谷町青谷で、模擬火災訓練が行われました。

訓練の前に消防署員が、浜町区住民のみなさんに初期消火の指導を行い訓練を開始。つづいて初期消火を行ったのち、消防署員と青谷地区団各分団員が一齐に消火活動にあたりました。

この訓練で、もしもの場合に備えた再点検ができました。

差別のない明るい町をめざして 第9回部落差別をなくする町民集会を開催

用瀬町 用瀬町民会館



3月6日(日)、高知県から呉島末信さんを講師に迎え、「私の歩んできた道」と題して講演が行われました。

父が朝鮮半島出身、母が被差別部落出身であることで、数々の差別を受けた体験談や、在日の人々がおかれている状況の厳しさなどが語られ、会場のみなさんは、今なお続く差別の実態を知り、あらためて差別をなくす取り組みの必要性を認識しました。